

棚田学会通信

第61号 目次 2020年6月30日発行

棚田地域振興法成立の背景と意義	2
日本の棚田百選紹介	6
アンケート調査報告	7
事務局ニュース	8



写真上：

棚田ほたる火コンサート風景

ホタル火になるペットボトルは、村の小・中学生たちが回収し、地域の大人たちが細工。1200個のろうソクは、まるでほたる火のよう。昨年はオカリナ奏者の宗次郎さん（四ヶ村棚田のファン）の演奏で、棚田に訪れた1500人の方たちと交流を楽しんだ。（2019/ 8/ 3）

写真左：

昨年5月オーナー家族の田植え

20組のオーナー家族を田植え、ほたる火コンサート、稲刈り、収穫祭に招待。東京などからも訪れ村人と交流。中には肘折温泉ファンになる人も。（2019）

新型コロナウイルスにより生業・生活への様々な影響にご苦勞されていることと存じます。棚田地域の活動も、ウィズ・コロナ時代の変化対応が求められていると強く感じます。

今号の特集は、昨年度施行された「棚田地域振興法」。また百選紹介は残念ながら延期となったサミット開催地・山形県大蔵村「四ヶ村の棚田」です。新たな時代を見据えたきっかけを探りつつ読んでいただければと思います。

（棚田学会編集委員会）